

平成 26 年 度

慶應義塾大学入学試験問題

文 学 部

地 理 歴 史
(日本史)

- 注 意
1. 受験番号（2 か所）と氏名は，所定欄に必ず記入してください。
受験番号は，所定欄の枠内に一字一字記入してください。
 2. 解答は，必ず解答用紙の指定の箇所に記入してください。
 3. 解答用紙は，必ず机の上に残しておいてください。
 4. この問題冊子は，表紙を含めて 7 ページあります。試験開始の
合図とともに全てのページが揃っているかどうかを確認してく
ださい。ページが抜けていたり，重複していたりする場合には，
直ちに監督者に申し出てください。

解答は別紙の解答欄に記入しなさい。

I 次の文章（イ～ホ）を読んで、文中の空欄（A～O）に該当する適当な語句をそれぞれの語群の中から選び、1～9の数字を、また語群の中に適当な語句がない場合は0を、解答欄（解答用紙の右上）に記入しなさい。

（イ）旧石器時代・縄文時代の打製石器の石材には産地の限られるものがあり、そうした石材の代表例である黒曜石は、北海道（A）、栃木県（B）、東京都神津島、長野県霧ヶ峰周辺・和田峠、大分県（C）などで産出することが知られている。

1 国府	2 月見野	3 高原山	4 富沢	5 姫島
6 早水台	7 港川	8 二上山	9 野尻湖	

（ロ）縄文時代になると狩猟用の石器として（D）が出現し、狩猟具の中心となった。ナイフのような機能をもつ（E）や、漁労具と考えられる石錘、主に土掘り具として用いられた（F）なども、縄文時代に発達した石器である。

1 石匙	2 石剣	3 ハンドアックス	4 細石刃	5 尖頭器
6 打製石斧	7 石棒	8 ナイフ形石器	9 石鏃	

（ハ）近年、高精度の質量の分析が可能な（G）を用いた（H）年代測定法の測定値を、確実な年代がわかる（I、J）の（H）年代測定値などから作成した校正曲線で補正する研究が進み、縄文時代と弥生時代の始まりが、ともに従来の見解より大きく遡る可能性が生じてきた。

1 熱ルミネセンス	2 火山灰	3 放射性炭素	4 AMS	5 蛍光X線
6 安定同位体	7 年輪	8 フィッショントラック		9 金石文

（ニ）『魏志』倭人伝には、景初二（三）年に邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを送り、金印や銅鏡などを下賜されることが記録されている。景初三年の銘のある（J）と（K）が、それぞれ（L）古墳、和泉黄金塚古墳で出土しており、卑弥呼に贈られた銅鏡との関係が議論されている。

1 画文帯神獸鏡	2 画像鏡	3 三角縁神獸鏡	4 内行花文鏡	
5 方格規矩四神鏡	6 箸墓	7 五色塚	8 神原神社	9 黒塚

(ホ) 稻荷山古墳出土鉄剣や隅田八幡神社人物画像鏡の銘文には、多くの固有名詞が記されており、前者の(M)、後者の(N)は、倭王権に関係する宮の名称と考えられる。それぞれ年代の表記もあり、隅田八幡神社人物画像鏡に記された「癸未年」は、西暦(〇〇)年とする説が有力である。

1	難波高津宮	2	意柴沙加宮	3	長柄豊碕宮	4	斯曳宮	5	小墾田宮
6	438	7	462	8	471	9	478		

II 次の文章の空欄(A～O)に適当な語句を、それぞれ語群の中から選び、1～5の数字を、また語群の中に適当な語句がない場合には0を、解答欄(解答用紙の右上)に記入しなさい。

明治新政府は、富国強兵、条約改正を目ざして積極的な欧化政策を採ったが、これに対し、明治20年代になると、三宅雪嶺や(A)は(B)を結成し、雑誌『日本人』を刊行して日本的な伝統や美意識を強調する(C)を唱えた。また、雑誌(D)の主幹となった(E)は日本主義を唱え、国民精神の発揚を図った。

A	1	小崎弘道	2	安部磯雄	3	杉浦重剛	4	陸羯南	5	井上哲次郎
B	1	立志社	2	政教社	3	矯風会	4	愛国社	5	平民社
C	1	民本主義	2	小日本主義	3	自然主義	4	軍国主義	5	ロマン主義
D	1	『太陽』	2	『明星』	3	『中央公論』	4	『改造』	5	『キング』
E	1	横山源之助	2	田中正造	3	片山潜	4	幸徳秋水	5	高山樗牛

一方、(F)は、政府主導の貴族的な欧化政策には反対するとともに、保守的な日本主義をも排して、「人民全体ノ幸福ト利益」を主張する(G)を唱え、自由で平等な近代社会建設を主張した。(F)は(H)を設立して、雑誌(I)でその考えを発表していたが、(J)を契機に国権論へと傾いてゆき、その後、国家主義的な立場を強めていった。

F	1	河野広中	2	志賀重昂	3	井上円了	4	徳富蘇峰	5	大井憲太郎
G	1	組合主義	2	農本主義	3	近代主義	4	平民主義	5	無政府主義
H	1	民友社	2	嚶鳴社	3	偕行社	4	博文館	5	玄洋社
I	1	『東洋経済新報』	2	『六合雑誌』	3	『東京経済雑誌』	4	『明六雑誌』	5	『アララギ』
J	1	甲申事変	2	日清戦争	3	北清事変	4	日露戦争	5	大逆事件

大正期から昭和初期には、(K) に影響を受けながらも、それに対抗して日本固有のあり方を主張する極端な国家主義的思想が成長していった。『日本改造法案大綱』を著した (L) は、私有財産制を制限し、天皇大権を中心にした金融・工業などの国家管理を主張し、軍部内部で天皇親政による国家改革を主張する (M) と深い関係を持つようになってゆく。また、(L) とともに (N) を結成した大川周明は、独自のイスラム研究などを背景に、(O) を主張した。

K	1	民族主義	2	国権論	3	社会主義	4	ファシズム	5	個人主義
L	1	石橋湛山	2	権藤成卿	3	橘孝三郎	4	山川均	5	賀川豊彦
M	1	統制派	2	皇道派	3	条約派	4	艦隊派	5	講座派
N	1	桜会	2	友愛会	3	草土社	4	国本社	5	猶存社
O	1	耽美主義	2	自由主義	3	虚無主義	4	大アジア主義	5	民族自決主義

Ⅲ 次の文章の空欄 (A ～ I) に該当する適当な語句を記しなさい。

江戸幕府の鎖国によって、対外関係の窓口は長崎・対馬・薩摩・松前に整備された。オランダとの関係は、1600年、(A) 号が豊後国臼杵湾に漂着したことに始まる。1609年、オランダは (B) に商館を設置したが、1641年、その商館はポルトガル人の追放によって使われなくなった長崎の出島に移された。

1609年、朝鮮王朝と対馬藩主 (C) 氏との間に、近世日朝関係の基本となる己酉約条が結ばれた。これによって、交易場は (D) の倭館に限定され、(C) 氏の外交における特権的地位が両国から認められた。

琉球は、清から冊封を受ける一方で、徳川将軍の代替わりには (E) 使を、琉球国王の代替わりには (F) 使を江戸に派遣した。

蝦夷地では、南部 (道南) に勢力のあった (G) 氏が松前氏に改称している。将軍 (H) は松前慶広に黒印状を与え、アイヌとの交易の独占権を保証した。1669年、(I) の峰起によって蝦夷地は一時混乱に陥ったが、鎮圧後は松前藩の支配が強化された。

Ⅳ 次の史料（イ～ホ）を読んで、設問に答えなさい。

（イ）応永三十年（1423）七月五日……a 関東の事につき、畠山修理大夫入道（満慶、能登守護）と同道せしめ、b 管領亭に罷り向かふ。かの亭に於て、c 諸大名等 悉く召し集む……細川右京大夫（満元）・武衛（斯波義淳）・山名・赤松・一色・今河等参る。大内入道、召さると雖も、所^{いへど}勞により参らず。

（ロ）文安三年（1446）正月廿日、畠山修理大夫入道賢良（義忠、^{つぎなみえ}満慶子、能登守護）家にて月次会^{はじめ}始……出題飛鳥井中納言入道、読師^{よみし}同じ、講師^{こうし}d（高山）宗砌。人数は飛鳥井・亭主・一色左京大夫（教親、伊勢・丹後守護）・予・正徹・春日三位入道・畠山次郎・円雅・（杉原）賢盛・常^{ちやう}敷・心恵・正晃・忍誓・常佐・（蜷川）智蘊・宗砌以下数輩なり。

（ハ）文明九年（1477）十一月十一日……戎刻ばかり、敵陣に回祿あり。今日、大内多々良政弘朝臣以下、陣払と云々……土岐（成頼）以下、悉く没落と云々。e 今出川殿、同じく御没落と云々。

（ニ）永正三年（1506）十二月廿二日……越前朝倉^f、屏風を新調す。一^{ふた}双に京中を画く。土左刑部大輔の新図、尤も珍重の物なり。一見して興あり。

（ホ）享祿二年（1529）八月廿日……清三位入道、能州より一昨日上洛すと云々。g 大守書状・柳一荷・両種、これを携ふ……雑談す。講尺七十余度の由、これを申す。

（いずれも原漢文、一部省略・修正、（ ）内は年代・人名註）

※回祿＝火事 清三位入道＝清原宣賢。戦国時代を代表する学者の1人
大守＝能登（能州）国主畠山義総。義忠の玄孫にあたる 講尺＝講釈

問1 下線 a 「関東の事」とは、当時の鎌倉公方が京都の幕府に対して見せていた不穏な動きをめぐる議題である。その鎌倉公方の氏名を記しなさい。

問2 下線 b 「管領」は、この5年後も管領職にあって、未曾有の規模の土一揆の処理にあたった人物である。その氏名を記しなさい。

問3 下線 c のように諸大名を招集したのは、当時既に將軍職を退きながらも幕府の代表者であり続けていた人物である。その氏名を記しなさい。

問4 下線 d の高山宗砌は主君の（ A ）が一時失脚して京都を離れた際、（ A ）とともにその領国の但馬に下り、かの地で死去した。（ A ）に当てはまる人物の氏名を記しなさい。

曰く、明治四年大蔵省に駅通正なる職の初めて置かれし時に、最初に其の職に就きたるは濱口翁なり。余は翁と始終親しく交際したるが、翁は就任の當時飛脚屋の親方となれりとて人に笑はれたること度々あり。前島密氏が何時洋行し何時歸られたるかは余の知る所にあらずれども、明治五年頃濱口氏が駅通正たりし時に、其下に前島氏が権正として働かれたるを記憶す。勝伯の選みたる栢陵翁の碑文にも「明治四年和歌山藩権大參事歴任駅通正及駅通頭」とあり。去れば郵便創始の名譽は前島氏の專有に歸す可からず。……今回の祝典に翁の名の稱せられざりしは遺憾なりといふべし。

(原文を一部修正)

問1 この記事が発表されたのは何年か。西暦で記しなさい。

問2 下線 a について、華族は当初、旧上層公家や大名に限られたが、1884年に華族令によって対象が拡大された。このとき、特にどのような者が対象に加えられたか。10字以内で記しなさい。

問3 記事中に、前島密の他にも華族に列せられた人物の名が出ている。(イ) その人物の氏名と
(ロ) 爵位を記しなさい。

問 4 下線bについて、廃藩置県により、旧大名である知藩事に代わって中央政府により任命された地方長官のうち、県の長官を何といったか。その名称を記しなさい。

問5 郵便制度が確立する前の時代の日本の通信制度を、記事中から抜き出しなさい。

問6 前島密は郵便制度の創始に携わった後、明治十四年の政変で下野して、ある政党に加わる。その政党の名称を記しなさい。

問7 この記事では、日本の郵便制度の創始には前島以外に重要な人物が関わっていたとする。その人物の氏名を挙げつつ、記事の主張の根拠を100字以内で要約しなさい。

(下) 光 用

[illegible]

